





(様式3)

令和3年度 しまねの公民館次世代参画支援事業 実績報告書

市町村名	雲南市	公民館等の名称	一宮交流センター
------	-----	---------	----------

事業の目的	若い保護者世代が地域自主組織主催の活動に参加することで、今後の地区振興計画策定の際のメンバーとして参画してもらうためのきっかけにする。
事業の内容	○ターゲットとする世代・・・30代～40代（小学生の保護者世代） ○地域の状況やターゲットとした理由 一宮交流センターは子どもや高齢者対象の事業を主に実施しているが、保護者世代だけを対象とした事業はほとんどない。また、地区振興計画策定の時期に来ており、その中に保護者世代にメンバーにも入ってもらうことで地域の活性化につなげたい。地域の高齢化が進む中、今後地域の活動を行なったり、地域の将来を考えていくためにも、保護者世代が加わり主体的に地域を盛り上げてほしいと考え、30代～40代（小学校の保護者世代）をターゲットとした。 ○事業の内容（日時、場所、参加者数、具体的な活動）を具体的にご記載ください。 令和3年11月6日（土）9：30～11：30・・・サタデーいちにこカフェ 一宮交流センター・（ホール・和室）31人参加 12月6日（土）9：30～11：30・・・親学・クリスマス会 一宮交流センター・（ホール・和室）33人参加 令和4年 2月8日（火）19：00～20：30・・・地域振興計画策定委員会① 一宮交流センター（ホール）18人参加 2月18日（金）19：00～20：30・・・地域振興計画策定委員会② 一宮交流センター（ホール）17人参加 ★「サタデーいちにこカフェ＆親子で工作」 一宮交流センターで毎月行っている「いちにこカフェ」を保護者世代にも体験してもらいたいとの思いで、カフェを土曜日に『サタデーいちにこカフェ』として開催し地域の方が作られる「煮しめ」や「山菜」などを味わってもらいながら、保護者世代ならではの交流を図った。 事前に昨年から当自主組織が運営している児童クラブで「どんなイベントなら参加したいか？」を保護者にリサーチし、本来の「いちにこカフェ」にプラスαの要素を取り入れ、別室で託児所も開設し、「子どもがいるから出にくい」という状況も解消し、子どもを預けて親世代のみでゆっくりと交流することができた。 11月6日（土）の当日は、8組の家族が参加し、前半は親子でフォトフレームを作成した。後半は子どもたちは紙芝居などで遊び、親たちはいちにこカフェを楽しみながら、自主組織事務局より一宮地区についてのお話を聞いた。最後にフォトフレームに親子で撮った。 写真を入れてお土産に持って帰ってもらった。
	   



～参加者の感想～

- ・久しぶりに子どもと一つのものを作りました。楽しかったです。
- ・一宮自主連合会の取り組みを説明してもらって、たくさんの取り組みがあることをはじめて知りました。これからも参加できるものがあれば参加していきたい。
- ・一宮のことを知りつつ、お母さんたちともお話が出来てとてもいい機会でした。
- ・一宮の取り組み、たくさんやっておられ改めてお話を聞き地元愛がすごく感動しました。

★「親のしつけは子どもへの大切な贈り物」・・・親学&クリスマス会

親学後、子どもへ送りたいメッセージを色紙に書いて、後半のクリスマス会で、子どもたちにプレゼントした。子どもたちからも親に内緒で色紙にメッセージを書いて手渡した。



～参加者の感想～

- ・親同士の交流をするいい機会でした。子どもからのプレゼントもあり、うれしかったです。
- ・子育てについて大切にしていること、苦労していること等いろんな話が出来てよかったです。
- ・自分の考えを見つめなおすいい機会になりました。
- ・子どもへのしつけについて改めて考えました。ほかの親さんの意見など聞いて、今後の子育てに生かそうと思います。
- ・改めて子どもについて思う貴重な時間でした。

★地域振興計画策定委員会

回数を重ねる中で、イベント参加者へ保護者世代の思いを聴いたり地区振興計画策定のメンバーへの勧誘を行い、委員会への参加をお願いし3名の方にメンバーとなってもらった。現在まで2回の会に参加してもらい、保護者目線で思いや意見を語ってもらっている。



○期待する成果・効果

- ・イベントを通して、保護者世代の新たなつながりが持てる。また交流センターに足を運ぶことで交流センターの活動に関わることの楽しさを感じることができる。
- ・地域住民の世代間交流のきっかけづくりとなる。
- ・地域の一員として、地域をよりよくしていこうと考えるきっかけになる。

○計画書に記載された「期待する成果・効果」をふり返って見られた成果や課題、次年度以降の見通しなどをご記載ください。

保護者世代の方が、親子で交流センターでのイベントに参加してもらえたことは、非常に良かった。

成果と課題  
今後の見通し

その中で事務局長からの一宮地区についての話を聞くこと等により、地域活動への関心も高まったのではないかとと思われる。

地域振興計画策定委員会メンバーになってもらった人に、今後年度内で予定している数回の委員会で、若い世代の思い・意見をどんどん話してもらい、『一宮地区振興計画改定版』の策定に生かしていきたい。

住みやすー宮! 住んでみたー宮!! とめざして